

230323隠岐圏域保健医療対策会議 人材確保の取組資料

隠岐保健所 地域健康推進課

	海士町	西ノ島町	知夫村	隠岐の島町
島根大学医学部地域枠 ①推薦数	分らない	○H20年度1名（海士町の方） ○R1年度1名（西ノ島町の方・現在3年生） ○R2年度1名（西ノ島町の方・医学部進学していない）	1名	○11名推薦 5名合格 うち2名は一浪後
②地元に戻ってきた方	分らない	いない ＊H20年度1名の海士町出身者は、今、益田 日赤で勤務	R5.4月より島前病院（知夫村派遣）として1名	いない ＊転勤で1名、隠岐病院勤務中
③地域枠学生と意見交換	行っていない	行っていない	村長等が個別に対応	行っている ○対象者：隠岐出身者 ○学生への案内等事務：隠岐病院 ・春：看護師・保健師・助産師学生 ・秋：医学生
各町村で取り組んでいること ①県内外ガイダンス・派遣会社	【ガイダンス】 ○しまねUターン1ターンフェア ・2019年までは東京・大阪会場に参加 【派遣会社への登録】 ○過去は、リクルート利用あり（採用ゼロ） ○近年は、募集広告の掲載はしている。 ・公務in ・看護職情報ネット ・eナース ・島根県理学療法士県士会 ・島根県歯科技術専門学校 （すべて採用ゼロ）	【ガイダンス】 ○島根県立大学・島根大学の就職ガイダンスに参加 ・保健師・管理栄養士の募集に併せて ○臨地実習の受け入れ ○インターンシップの受け入れ ○島前病院の受け入れ（医学生・看護学生・助産師学生）	【ガイダンス】 ○医師については、広告掲載のみ ○看護師等については、U1ターンフェア等に参加	【ガイダンス】 ○看護協会と協力し、町内高校生へ進路・職業紹介を実施。R2・3年度はコロナ感染症により未実施。本年度は実施。 ○出身大学で学生へのPR事業実施（保健師） ○大学のフィールド実習の受け入れ（保健師・看護師・管理栄養士）
②町村独自の取組	○町内の民間企業 （株）風と土とへ業務委託	○職場体験のための旅費・宿泊費助成 ○就業一時金・引越越し費用の助成 ○修学資金制度 ※島前病院にも同様の事業あり	○広告掲載	なし
③実際に人材確保出来た実績	○2019～2022年の実績 看護師6名（診療所3・役場2・施設1） 理学療法士1名 養護教諭（中学校）1名	○R2年度1名（島根大学：保健師） ○R3年度2名（島根大学：保健師） ○R4年度1名（島根県立大学：管理栄養士） ※町採用分のみ。島前病院採用分は除く。	○2名程度U1ターンフェアから採用実績あり	不明（就職した方への聞き取り調査等行っていない）
隠岐全体で取り組むといいこと	○地元出身の学生や就労している方に地道にアタックすることも必要	○小中学生と医療従事者（医師・看護師等）が交流する機会 ・実際に医師や看護師の仕事を、聴診器を使ってみる体験等しては？ ・西ノ島は小中一貫教育なので、9年間のどこかで、その学年に合った交流の仕方を工夫してみようかと考えている。	町村を越えた圏域的な立場で人材確保体制の構築及び採用	○島前島後が一緒に取り組むメリットは何でしょうか。勤務条件も住環境も違う。「隠岐全体で」の取り組みは難しいのではないのでしょうか。
	○地元の小中学生に医療関係の道があることを教えることを続けることも必要		抜本的な体制整備	
	○上記の看護師等の採用は、実際に来てもらうツアーを組んで、町の雰囲気や自然、不便さを味わってもらった上で採用につながっていると思う。町を経験してもらうことが必要。	○一医療機関で1人抱えるには業務量がない専門職種であるが、必要な職種を隠岐全体で確保して、隠岐全体で回せないか。		
	○人材確保の担当だけでなく、担当と現場を巻き込んだ取組にならないと担当が疲弊する。人の取り合いなのでエネルギーを必要とする。	○看護師の大学のカリキュラム（単位取得）に隠岐の医療機関での実習を入れてもらえるよう、大学に依頼。		